

岐阜昇龍道研修

～関、郡上八幡、美濃、高山、白川郷ツアー～

2018年9月6日、7日実施 JGA 第二支部研修レポート

今年度第二支部では、第1回目の大きな研修として9月6日～7日、一泊二日の岐阜昇龍道研修を行いました。参加費が高くなってしまい、当初、参加者が集まるかどうか大変不安でしたが、予想を上回る参加者申込みをいただき、定員を増やして大型バスに変更となりました。関東地方、近畿地方、遠くは北海道や九州からも総数32名（JGA 会員25名、非会員2名、運営委員5名）のご参加をいただきました。

名古屋駅で集合後、車内で運営委員から名古屋の紹介があり、JGA 会員で関鍛冶に造詣の深い吉田氏からは、関市の説明をいただきました。関鍛冶伝承館着後、古式ゆかしい伝統衣装に身を包んだ三人の刀匠による鍛冶の実演を見学。団体だからこそ、費用のかかる実演見学が可能となりました。館内展示や、鍛冶道具の説明以外に、槌で鉄を打つ作業まで一人ずつ体験しました。美濃和紙の里会館でも、館長の和紙についての説明後、全員が和紙作りを体験しました。昼食後は美濃和紙あかりアート館館長やボランティアガイドさんの説明を受けながら散策し、うだつの上がる美濃の町並み、和紙の素晴らしい作品にも感銘を受けました。その後、郡上八幡へ。郡上八幡博覧館内で盆踊り鑑賞後、浴衣を着たダンディーな館長のテンポよい町の見どころ案内に一同感激。あらためて、郡上八幡の素晴らしさを堪能できました。今年は、あと一回盆踊りがあるということで、幸いにも盆踊りの櫓までも見ることができました。

参加者一同、よく歩き、汗だくになりましたが、宿泊地下呂温泉、水明館で汗を流し、夕刻は、宴会会場に集合しました。開始直後、運営委員、辻本氏による名古屋名物金シャチの逆立ち披露で会場が一気に感動の渦に巻き込まれ、さらに運営委員が準備したゲームや参加者に用意していただいたクイズやお話で、大変盛り上がりました。参加者からも宴会でのアイデアが提供されました。また水明館のトロトロの美肌の湯のお風呂に4回も入られた方が数名いらっしゃいました。



翌日、白川郷では、小雨の中、白川村役場観光振興課の方に案内をしていただき、住民にしかわからない情報まで教えていただきました。まぶたに稲穂の鮮やかな黄色が印象に残りました。さらに高山の日下部民藝館で日下部氏のご案内で理解を深め、高山祭り屋台会館でもスタッフによる詳細なご説明をしていただきました。高山研修終了後、自主研修するため離団された方々を高山に残し、一行は名古屋へと帰路につきました。

車内では、参加者による日頃のガイディング紹介や歌や演奏の披露で盛り上がり、最後の最後まで楽しい研修でした。参加者の皆様、昇龍のごとく運氣アップ間違いなしです！

(第二支部運営委員 鬼頭直子)